

第2回 2025年デフリンピック大会に係る 大会準備連携会議

議事次第

日時：令和5年3月17日14:30～

場所：東京都庁第一本庁舎42階
特別会議室B

1. 挨拶
2. 大会運営組織における令和5年度事業計画（案）
3. 大会運営組織における令和5年度予算（案）
4. 意見交換

《参考資料》2025年デフリンピック大会に係る大会準備連携会議について（第1回会議 配布資料）

大会運営組織における令和5年度事業計画（案）（全日本ろうあ連盟）

【基本方針】

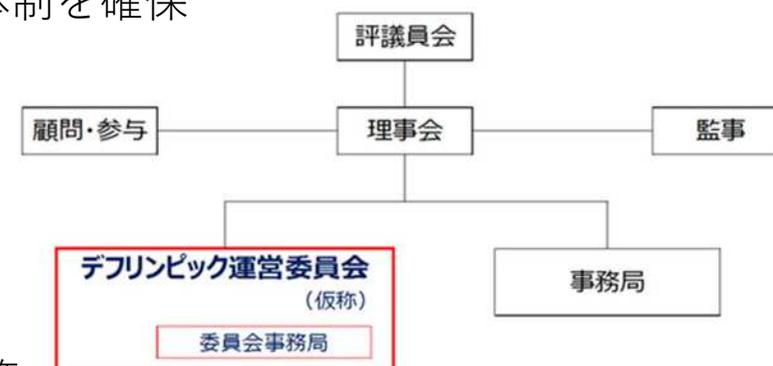
令和5年度は、大会運営の主体として、都のガイドライン等を踏まえたガバナンス体制やコンプライアンス確保、計画・予算・契約・調達に係る内部統制・外部チェックの仕組みを構築するとともに、東京都スポーツ文化事業団等と連携し、大会計画作成に取り組む。

【R5事業計画】

ガバナンス体制の構築

○ 都のガイドラインやスポーツ庁の指針を踏まえ、ガバナンス体制を確保

- ・ 利益相反管理規程の作成・体制整備
- ・ 契約支出管理委員会（仮称）への契約・調達案件付議、大会専用の会計の設置・運用
- ・ 外部専門家を含むコンプライアンス委員会の設置、役職員向けコンプライアンス研修の実施
- ・ 内部通報規程・懲戒処分規程の作成・整備
- ・ 内部監査及び監事団による外部監査、情報公開の仕組みの構築



大会準備業務

○ 開催準備を着実に進めるため、多方面との調整、全国への機運醸成の推進、また手話言語ボランティア等の人員配置等の計画策定に着手・ICSDや関係団体等との調整、連携

- ・ 大会エンブレムの企画検討、発表
- ・ 大会マスコットの企画検討
- ・ 手話言語ボランティアや手話言語通訳者の人員配置・募集・育成計画の作成
- ・ 大会情報の発信（国外・国内）

大会運営組織における令和5年度事業計画（案）（東京都スポーツ文化事業団）

【基本方針】

令和5年度は、国際スポーツ大会の運営組織として適切なガバナンス体制を速やかに構築するとともに、大会成功に向けた基礎プランニングフェーズとして、大会の準備・運営がスムーズに実施できるよう、運営委員会等と連携し大会運営に必要な各種計画を作成する。

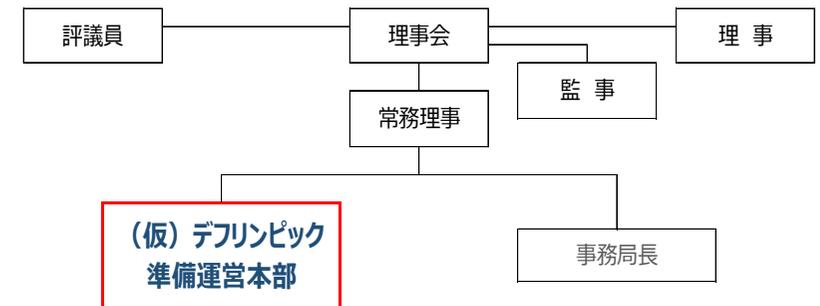
【R5事業計画】

ガバナンス体制の構築

- 都のガイドラインやスポーツ庁の指針を踏まえ、適正性、公平性や透明性を確保した適切なガバナンスを構築
 - ・ 利益相反ポリシーの作成
 - ・ 契約支出管理委員会（仮称）への契約案件付議
大会専用の会計の設置・運用
 - ・ 外部専門家を含むコンプライアンス委員会の設置、
コンプライアンス研修の継続的な実施
 - ・ 内部通報窓口、懲戒処分審査体制の整備

大会準備業務

- 大会を確実に開催するために、競技会場等の借用調整や競技運営方法等の検討を、運営委員会や東京都等と連携し実施。併せて、大会で提供する各種サービスのオペレーションを検討
 - ・ 競技要項の作成、競技・会場運営計画の検討、会場所有者及び競技団体との連絡調整
 - ・ 輸送・宿泊計画の検討
 - ・ 開閉会式の企画・検討
 - ・ 表彰式、メダル製作の検討
 - ・ 会場警備、飲食、医療、ドーピング、清掃等各種会場オペレーションの検討



（スポーツ文化事業団体制図）

全日本ろうあ連盟2023年度デフリンピック運営委員会 会計予算（案）

デフリンピック運営委員会 会計（抜粋）

単位：円

科 目	当年度
I. 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1)経常収益	
受取寄付金	0
雑収益	0
経常収益計	0
(2)経常費用	
①事業費	
旅費交通費	800,000
印刷費	500,000
諸謝金	690,000
広報費	1,500,000
雑役務費	550,000
事業費 計	4,040,000
②管理費	
給料手当	20,000,000
会議費	600,000
旅費交通費	180,000
通信費	360,000
消耗品費	480,000
印刷費	240,000
賃借料	1,200,000
水道光熱費	180,000
雑役務費	800,000
雑費	1,520,000
管理費 計	25,560,000
経常費用計	29,600,000
当期経常増減額	-29,600,000

2. 経常外増減の部	
(1)経常外収益	
受取利息	0
繰入金収入	0
経常外収益計	0
(2)経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	-29,600,000

- ICSD等の連絡調整、全国への機運醸成の推進、また手話言語ボランティア等の人員配置等の計画策定を全日本ろうあ連盟デフリンピック運営委員会が担当
- 初年度の経費として、以下の経費を計上
 - ・ ICSDや関係団体等との調整、連携
 - ・ 大会エンブレム・マスコットの企画検討
 - ・ 手話言語ボランティアや手話言語通訳者の人員配置・募集・育成計画の作成
 - ・ 大会情報の発信

東京都スポーツ文化事業団 デフリンピック事業会計 令和5年度(2023年度)予算(案)

デフリンピック事業会計 (抜粋)

(単位：円)

一般正味財産増減の部		
経常増減の部		
経常収益		
受取補助金等	391,456,000	
経常費用		
事業費	391,456,000	
福利厚生費	42,984,000	
会議費	100,000	
共益費	1,680,000	
旅費交通費	8,860,000	
通信運搬費	14,625,000	
減価償却費	1,289,000	
消耗什器備品費	600,000	
消耗品費	7,646,000	
光熱水費	6,312,000	
賃借料	60,495,000	
委託費	240,030,000	
支払手数料	6,491,000	
雑費	344,000	
当期一般正味財産増減額	0	
一般正味財産期末残高	0	

指定正味財産増減の部	
デフリンピック運営準備資金	57,729,000
受取寄付金	1,000
当期指定正味財産増減額	57,730,000
指定正味財産期末残高	57,730,000
正味財産期末残高	57,730,000

※本予算案は、東京都議会令和5年第1回定例会にて令和5年度東京都予算案が可決し、東京都スポーツ文化事業団の理事会において令和5年度(2023年度)予算案が承認された場合に確定する。

- 競技、会場運営などの運営実務を東京都スポーツ文化事業団が担当
- 初年度にかかる経費として、各種計画策定費や事務局運営費などを以下の通り計上
 - ・ 競技要項の作成、競技・会場運営計画の検討、会場所所有者及び競技団体との連絡調整
 - ・ 輸送・宿泊計画の検討
 - ・ 開閉会式の企画・検討
 - ・ 表彰式、メダル製作の検討
 - ・ 会場警備、飲食、医療、ドーピング、清掃等各種会場オペレーションの検討
- 財源については、都からの負担金等で充當予定

2025年デフリンピック大会に係る大会準備連携会議について

《※参考》
第1回会議配布資料

1 概要

- 大会の準備・運営について、関係者で情報共有、調整・協議し、必要な助言等を行う場として、「2025年デフリンピック大会に係る大会準備連携会議」を設置
- 会議は、全日本ろうあ連盟、東京都、スポーツ庁、JOC、JPSA、弁護士、公認会計士で構成
- 会議の設置主体は全日本ろうあ連盟であり、事務局は連盟と東京都が連携して実施
- 開催頻度は概ね四半期に1度程度の開催を想定

2 主な報告事項

- 大会運営組織の体制、ガバナンス確保の取組、事業計画、予算等
- その他、準備・運営を進める上での課題などについても報告
- 上記の報告は、連盟内に設置する運営委員会や都スポーツ文化事業団が実施

